

ビデオプロジェクト操作講習会

地域等での写真会、職場や学校でのプレゼンテーションなどに使える、ビデオプロジェクトの正しい操作方法を学びませんか？

本講習を受講すると、市教育委員会の視聴覚ライブラリーで貸し出ししているビデオプロジェクトを借りることができるようになります。

日時 3月11日(月)
午後6時30分～8時

会場 市役所2階205会議室

対象 16歳以上の市内在住・在勤・在学者
定員 先着15人(予約制)
費用無料
持ち物 顔写真2枚(2.5cm×2.5cm)、筆記用具
申し込み 電話、ファックス 22・9835
または直接社会教育課へ

※ファックスで申し込む方は、住所、氏名、電話番号、年齢、職業を記入してください。

御岳渓谷植物観察会

春を探して

御岳渓谷で見られる早春の植物とその生態についてガイド付きで観察会を開催します。昼食は、かつて太宰 治や井伏鱒二ほか、たくさんの方々が集った老舗「玉川屋」で打ち蕎麦をいただきます。

日程・行程 3月19日(火) 午前10時・市御岳交流センター集合

10時20分・植物観察

午後1時・御岳「玉川屋」で昼食

午後2時・現地解散

※雨天・積雪の場合、20日(水)に延期

ガイド 佐久間正敬氏、平原美智子氏

定員 先着20人程度(予約制)

費用 1千800円(昼食代、保険代、資料代)
※当日集金

※3月18日以降のキャンセルにはキャンセル料が発生します。

服装・持ち物 歩きやすい服装、はきなれた靴、筆記用具、虫眼鏡(お持ちの方)、飲み物

申し込み 3月14日まで
にメール 248@omekankou.gr.jp
または電話 24・2481
または青梅市観光協会 81



春の訪れをつける「キクザキイチゲ」

企画展

青梅市の文化財住宅

「民家と町屋のしくみ」関連イベント

郷土博物館では、開催中の企画展「青梅市の文化財住宅」民家と町屋のしくみに関連する展示や講演会を実施します。

入場無料 直接会場へ
問い合わせ 郷土博物館 23・6859



企画展関連展示

3月3日は雛祭りです。上巳の節句、桃の節句とも言われ、女子の誕生や成長を祝うことで知られています。

文化財指定の住宅で、雛人形を展示します。

なお、今回は通常、一般公開されていない福島家住宅でも展示を行いますので、この機会にぜひお越しください。

日時・会場 下表参照

企画展関連講演会

青梅市の文化財住宅

講演会の終了後、郷土博物館に移動して展示解説講座も行います。

日時 3月9日(土) 午後2時から

会場 釜の淵市民館研修室

講師 青梅市文化財保護審議会会長 河東義之氏

日程	時間	会場
2月20日(水)～3月10日(日) ※月曜日を除く	午前10時～午後4時	旧宮崎家住宅(駒木町1-684) 旧稲葉家住宅(森下町499) 旧吉野家住宅(新町1-21-9)
3月2日(土)、3日(日)	午前10時～午後3時	福島家住宅(沢井2-720)

定員 先着80人(予約制)
入場無料
申し込み 電話 23・6859
または直接郷土博物館へ

かえってきた!

図書館ワンダーランド

各種おはなし会をはじめ、お子さんが楽しめるさまざまなイベントを実施します。青梅のふくしキャラクターおうちちゃんも遊びに来ます。

また、新サービス「読書手帳」を紹介します。

☆おはなしエリア
▼読書手帳コーナー

☆いずれも
▼読書手帳コーナー

日時 3月2日(土)
午前10時～午後4時

会場 中央図書館多目的室

費用無料 直接会場へ
問い合わせ 中央図書館 22・6543



図書館妖怪ち～のん

件名	時間	対象	定員(先着)
ちっちゃいこのおはなし会	午前11時～11時30分	4歳以下	20人
おはなし会※1	午後1時～1時40分	4歳以上	30人
子どもおはなし会※2	午後3時～3時45分		

※1 協力:青梅おはなしの会
※2 出演は事前に申し込みをした方に限りですが、どなたでも聞くことができます。

青梅市の文化遺産26

御岳山の御師と講

市文化財保護指導員 須崎直洋

寺社詣でが盛んになると、その仲立ちをする御師が生まりました。

古くは和歌山県の熊野御師や、三重県伊勢の御師(伊勢では「おんし」という)が知られ、関東周辺の寺社では、江戸時代中頃に多くの御師が活動するようになります。

御岳山でも神社に所属する家々が御師として、神社詣での意義を広く伝播し、字などを単位として、各地域の信仰団体で

庶民の暮らしに少しゆとりができて、まだ個人での参詣は難しいため、「講」の資金で年一回人数が、決まった御師を通じて神社に詣でます。信仰だけでなく、物見遊山や情報収集など、庶民にとって重要な行事り、生活にも重要な行事

ある「講」を組織させ、遠方より訪れる講員の参拝案内や祈禱、宿泊に食事の提供を行うようになります。

庶民の暮らしに少しゆとりができて、まだ個人での参詣は難しいため、「講」の資金で年一回人数が、決まった御師を通じて神社に詣でます。信仰だけでなく、物見遊山や情報収集など、庶民にとって重要な行事り、生活にも重要な行事

として爆発的な広がりを見せます。参拝期以外、御師は「講」に出向き、お札の頒布や祈禱を行い、夜は講の世話役の家にお泊まり、講員も集い、酒などを酌み交わし語り、講との関係をさらに深めます。

本来神職は神社祭祀を行うことが本分で、御師活動は許されていませんので、御師は神職と庶民の中間の身分でした。そのため明治時代になり、神社が国家管理になると、御師制度は廃止されます。

しかし、御師や庶民の間で復活が要望され、明治9(1876)年に御嶽神社とは別組織の「豊徳講」設立が認められて、活動が再開されます。

関東平野を取り巻く大山、三峯、榛名、赤城、筑波や富士、戸隠などの神社でも、別団体を設立して御師は残っています。が、直接、「講」に出向いているのは、全国でも御岳山だけなので、現在31軒の御師家が活動を続けています。

問い合わせ 郷土博物館 23・6859

市役所1階議会情報コーナーに「ち～のん文庫」を開設します



来庁者へのサービスの向上と、子どもの読書活動活性化を支援する「ち～のん文庫」を市役所1階議会情報コーナーに開設します。

ち～のん文庫は、図書館での役割を終えた再利用本を利用した、どなたでも、手続きなしで借りられる文庫です。その場で読むこともできます。

し、家に持ち帰って読むこともできます。ぜひご利用ください。

読み終えた本は必ずお返しください。

開設場所 市役所1階議会情報コーナー

開設時間 午前8時30分～午後5時

※木曜日は午後8時まで

※土・日曜日、祝日、年末年始は利用できません。

問い合わせ 社会教育課 図書館担当



中央図書館ハンディキャップサービス 新着点字図書・デージー図書のご案内

点字図書

点字図書は、図書館の利用者カードをお持ちの方は、どなたでも利用できます。

☆新着点字図書

▽きつと誰かが祈ってる(山田宗樹著・全3巻)

▽なきむし姫(重松 清著・全3巻)

▽悟浄出立(万城目 学著・全3巻)

☆新着デージー図書

▽青梅線レポートの謎(西村京太郎著)

▽火定(澤田瞳子著)

▽注文をまちがえる料理店(小国土朗著)

デージー図書

デージー図書(録音図書)は活字を音声にした録音図書で、視覚障害者で図書館の利用者カードをお持ちの方は、どなたでも利用できます。また、デージー図書を聞くためには、専用

の再生機が必要ですが、中央図書館で貸し出しています。

なお、再生機の購入を希望する方は、障害の程度に応じて補助があります。詳細は、障がい福祉課へお問い合わせください。

問い合わせ 中央図書館 22・6543